

# 第6区分 フロセス熱化学分野

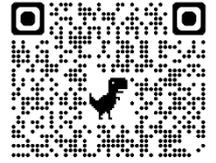
## 1. 2024年度メンバー構成

准教授：長谷川将克先生、川西咲子先生

M2：4人 M1：3人 B4：6人 研究生：1人



研究室 HP はこちら



質問等はこちら

## 2. 1年間の大まかな流れ (4回生)

前期	4月	研究室配属/4回生歓迎飲み会
	5月	研究室対抗ソフトボール大会
	5~8月	院試勉強/ゼミ・実験講習 (/研究テーマ決定・実験開始)
	8月	大学院入試
	9月	院試お疲れ様会
	10月	すぼると
	12月	忘年会
後期	2月下旬	卒業論文提出・発表会
	3月	学会発表

前期は院試勉強を中心に、熱化学のゼミ、及び実験の基本的な注意事項などを教わる実験講習があります(それぞれ週1コマずつの予定)。5~6月に研究テーマを決め、無理のない範囲で実験をスタートし、装置の使い方などを学びます。

後期は本格的に卒業研究を進めていきます。先生や先輩の指導を受けながら実験を行い、年末頃から卒業論文を徐々に書き始めます。希望者は学会に参加し、成果を発表します。

## 3. 普段の生活

日中は、各自で立てたスケジュールに基づき、実験やデータの解析、装置の作成や各種事務作業などを行います。また、毎週水曜日の16:00~には報告会があり、先生方や他の学生に研究の進捗を報告して、助言や指摘をもらいます。各自月に1回、持ち回りで報告をします。

## 4. 院試

この研究室は三宅研(第5区分)と共にエネルギー応用科学専攻に属しており、8月に院試が行われます。エネルギー応用科学専攻では、理系科目2科目(エネルギー熱化学、物理化学、電磁気、工業数学など)と英語の計3科目が出題される筆記試験と、面接試験が行なわれます。

卒業研究に向けた前期のゼミで長谷川先生からエネルギー・材料熱化学を分かり易く徹底的に教わるので、院試でもエネルギー熱化学1科目は満点を狙う事ができます。残る理系科目1科目、そして英語の計2科目を勉強すれば、院試はほぼ大丈夫。もちろん研究室には、過去問・解答例も揃っています。

(裏に続く)

## 5. その他

- ・ 「熱化学」のプロになれます。
- ・ 最高で1800℃もの高温を扱える日本でも数少ない研究室。「500℃は低温!光っていなければ熱くない。」
- ・ 工具の使用スキルが身につきます。↑の高温装置の自作も朝飯前。

- ・メンバー間の仲が良いです。筋トレや各スポーツを皆でしています。
- ・お昼ご飯も食堂やお店で仲良く食べる人が多いです。
- ・週一で王将テイクアウトしています。会員カード(5,7,10%引き)複数所持
- ・三宅研や土井研とも仲が良いです。
- ・カレー禁止。絶対。

## 6. よくある質問

- ・ Q. コアタイムはありますか。
- ・ A. ありません。各自計画的に実験・解析を進めています。
  
- ・ Q. ミール契約者です。お昼ご飯はどうしていますか。
- ・ A. お昼は食堂に行くことが多いです。食堂以外にもお店のお弁当などを買って研究室で食べています。
  
- ・ Q. 休みはとれますか？
- ・ A. もちろんです。病欠はもちろん私用での休みも事前に報告すれば大丈夫。
  
- ・ Q. バイトや部活はできますか
- ・ A. できます。バイトは週2回している学生が多いです。

その他気になる事・研究室をもっと見学したい！などがあれば、表のフォームから連絡してください！